

アジアで初の国際骨髓バンク会議を開催

5月28日(金)・29日(土) AM 9:00 ~ 慶應義塾大学 三田キャンパス

財団法人骨髓移植推進財団
理事長 高久史磨

5月28日から29日まで、慶應義塾大学三田キャンパスで、世界の国と地域による国際骨髓バンク会議を開催します。日本はもちろん、アジアでも初めてのことです。

世界中の造血幹細胞移植医療に携わるドナーバンク関係者や研究者によって構成される団体WMDA (World Marrow Donor Association) は、2年に1度、国際間の造血幹細胞移植と骨髓バンク事業にかかわるさまざまな問題を集学的に討論することを目的とした会議を開催しています。毎回、全世界の国と地域から200人以上の関係者が参加しているこの会議が、慶應義塾大学三田キャンパスで、5月28日から29日までの2日間開催されます。

国際骨髓バンク会議は、これまで通算4回開催されています。現在アジアでは、日本を含めて6つの骨髓バンクと20のさい帯血バンクが機能していますが、これまで欧米のバンクと一堂に会して意見交換をする機会は無かったです。今回の会議は、日本をはじめアジアのドナーバンクが参加した、真の意味での国際協調を議論する場として、欧米からも大きな期待が寄せられています。

第5回国際骨髓バンク会議

(5th International Donor Registry Conference)

日時：2004年5月28日(金)・29日(土) 9:00 ~

主催：慶應義塾大学 / 骨髓移植推進財団

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

ホームページ：http://www.lbs-congre.co.jp/idrc/

WMDA (World Marrow Donor Association)

非血縁者間造血幹細胞移植に携わる世界のドナーバンク関係者や研究者によって、国際間の相互提供を取りまく環境の整備と向上を目指す組織。血縁間で骨髓ドナーが見つからない患者さんのために、国民に善意の骨髓提供を呼びかけ、移植までを結びつける橋渡しをつとめる骨髓移植推進財団(東京都千代田区神田錦町3-19、理事長 高久史磨)は1997年9月に加盟し、国際担当理事 岡本真一郎助教授(慶應義塾大学医学部)を中心に国際協力事業を展開。

国際協力事業

骨髓バンクは、世界40の国と地域にある。2003年度までの海外バンクとの間の骨髓移植・提供の累計実績は、「海外から」が126件、「海外へ」は113件。

おもなプログラムの内容

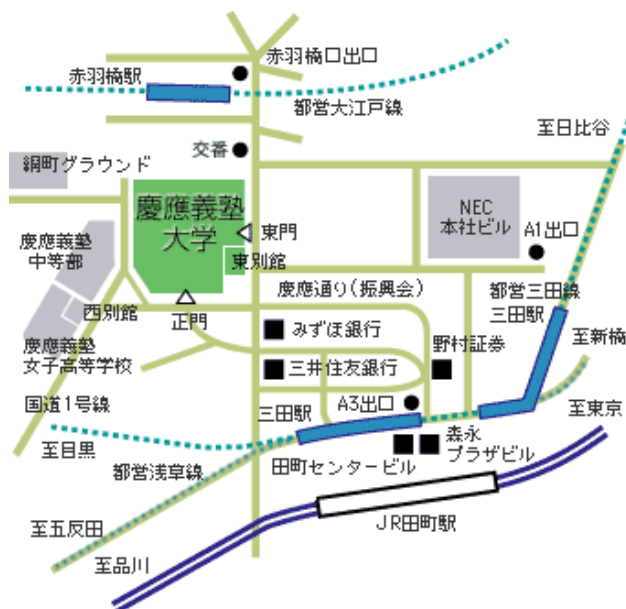
5月28日(金)

- 9:00 (セッション1)細胞治療の発展と骨髄バンクの役割
- 10:40 (セッション2)患者の選択肢の拡大--非血縁ドナーとさい帯血は同時に検索か、個別検索か
- 13:30 (セッション3)アジアにおける骨髄バンクの現状
- 16:00 (セッション4)国際間の幹細胞移植 / 提供における内的及び外的障害

5月29日(土)

- 9:00 (セッション5)HLA
- 10:00 (特別講演) シャーリー・ノーラン追悼講演
- 11:15 (セッション6)最優秀テーマ抄録5題の講演
- 13:30 (セッション7)骨髄バンクの業務に関わるIT
- 14:45 (セッション8)末梢血幹細胞採取と骨髄採取における有害事象の再検討
シャーリー・ノーラン女史 世界の骨髄バンクの先駆けとなったイギリス骨髄バンクの設立者

慶應義塾大学 三田キャンパス



所在地

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL.03-3453-4511(代)
北館2Fロビー「財団関係受付」までお越しください。

交通

- ・JR山手線、京浜東北線 田町駅 (徒歩約8分)
- ・都営地下鉄浅草線 / 都営地下鉄三田線 三田駅 (徒歩約7分)
- ・都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅 (徒歩約8分)

リリース配布先：厚生労働記者会、東京都庁記者クラブ

本件に関するお問い合わせ：財団法人 骨髄移植推進財団 担当：山崎・吉里
(電話)代表：03-5280-8111 夜間：03-5280-0997